

米軍ヘリポート基地に関する要請書

港区民、とりわけ米軍基地（赤坂プレスセンター）周辺に居住する住民は、同施設内の米軍ヘリポート基地の運用に伴う騒音、振動等により、日常生活に大きな影響を受けており、港区は、防衛省をはじめ関係機関に対し、当該基地の早期撤去を強く要望してまいりました。

港区は本年2月、米軍ヘリコプターの飛行状況や騒音・振動等が周辺に与える影響を把握するため、周辺地域の住民を対象としたアンケート調査を実施し、結果を区ホームページにて公表いたしました。

当該調査の結果、米軍ヘリコプターの音を「うるさい」と感じるとの回答や、事故やトラブルへの不安を感じるとの回答が、それぞれ6割近くに上るなど、多くの区民が生活環境への影響や安全面での懸念を抱いている実態が明らかとなりました。

また、「飛行時間を日中に限定してほしい」、「低空飛行をやめてほしい」など運用上の改善を求める意見や、「施設内を見学できる機会を設けてほしい」といった基地に対する理解促進を求める意見が寄せられました。さらに、基地に隣接する地域の住民からは、アイドリングに伴う振動や臭気に関する切実な声が寄せられており、当該基地の存在に対する強い不安や負担感が示されています。

防衛省におかれましては、地元自治体及び区民の切実な声を真摯に受け止め、改めて米国に対し、基地の撤去及び米軍関連事故の再発防止を強く申し入れるとともに、日米の作業部会等において、港区への十分な情報提供、騒音・振動の軽減、低空飛行や早朝・夜間飛行の抑制、アイドリングの見直しなどの運用改善並びに地域住民への十分な配慮について、求めています。

令和8年8月24日

防衛大臣 小 泉 進次郎 様

港 区 長 清 家

